

認定調査票の記入のポイント【第5回】

第5回は「第3群 認知機能」についてご案内いたします。問題から正しい選択肢を選んでみましょう。

問題 【3-1 意志の伝達】

常時、誰にでも「意思の伝達」はできるが、伝達する内容は間違っている。

- ☐ 調査対象者が意思を他者に伝達できる ☐ ときどき伝達できる
☐ ほとんど伝達できない ☐ できない

問題 【3-2 毎日の日課】

毎日の日課の理解とは、() について理解する能力を評価する項目である。

- ① 曜日ごとのスケジュール ② 起床、就寝、食事等のおおまかな内容

問題 【3-4 短期記憶】

調査の直前に何をしていたか思い出すことの確認が難しい場合に行う、「ペン」「時計」「視力確認表」を使った短期記憶の確認方法として適切なものはどれか。

- ① 見えないところにしまって、5分以上してから2つ答えられるか確認する。
② 見えないところにしまって、3つ全て答えられるか確認する。
③ 見えないところにしまって、5分以上してから2つを提示し、提示されていないものについて、答えられるか確認する。

問題 【3-8】徘徊【3-9】外出すると戻れない

現在入所中で、目的もなくウロウロと食堂や他のフロアを動き回り、自分の居室に戻れなくなることが週1回ある。

- 3-8 徘徊 ☐ ない ☐ ときどきある ☐ ある
3-9 外出すると戻れない ☐ ない ☐ ときどきある ☐ ある

回答 【3-1 意思の伝達】 調査対象者が意思を他者に伝達できる

〈解説〉【3-1 意思の伝達】とは、調査対象者が意思を伝達できるかどうかの能力。伝達する意思の内容の合理性は問わないため、伝達する内容は間違っているとしても意思を伝えることができればよい。

★特記例と正しい選択肢

特記例	間違いが多い選択肢	正しい選択肢
自発的に訴えることは少ないが、問いかけに対して伝えることができる	ときどき伝達できる ほとんど伝達できない	できる
介護者に対して意思の伝達はあるが、内容や状況によってはできる時とできない時がある。	ほとんど伝達できない	ときどき伝達できる
何かを訴えようとするが、明瞭な言葉になっておらず意思をくみ取ることは難しい	できない	ほとんど伝達できない
呼びかけに対して反応はあるが、言葉で伝えられない	できない	ほとんど伝達できない

回答 【3-2 毎日の日課】 ②起床、就寝、食事等のおおまかな内容

〈解説〉曜日ごとのスケジュールや厳密な時間まで理解している必要はない。

★間違いが多い特記例

- × デイサービスの利用日を理解できておらず、介助者の声かけがないと準備できない。
- 毎日の食事時間や1日の過ごし方は概ね答えることができた。

回答 【3-4 短期記憶】 ③

〈解説〉直前に何をしていたか思い出すことが難しい場合に3点確認を行う。「ペン」「時計」「視力確認表」以外の物を使用すると、対象者によって難易度が異なってくるため、それ以外の物は用いない。

回答 【3-8徘徊】 ある【3-9外出すると戻れない】 ある

〈解説〉【3-8 徘徊】とは、目的もなく動き回る行動のこと。落ち着きがない様子と『家に帰りたい』という意思表示があれば【4-8 落ち着きなし】で評価。
【3-9 外出すると戻れない】とは、屋外への外出だけでなく、居室や居住棟から出て自室や自宅に戻れなくなる行動も含む。自分で移動できない場合は含まない。